

登山者・キャンパーや山林内で作業する皆さまへ

豚熱ウイルスの拡散防止に ご協力をおねがいします。



野生いのししの間で豚熱という病気が広がっています。
人間に感染することはありませんが、
豚に感染して養豚業に大きな被害を与えます。
ウイルスを山林から持ち帰らないよう、ご協力をお願いします。

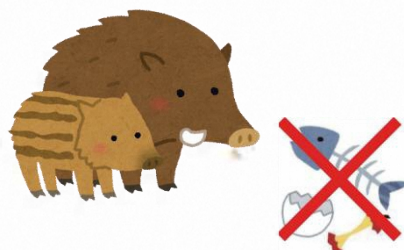
1

ウイルスは土にも含まれます。
靴の泥は山で落としましょう。



2

いのししを誘引しないよう
残飯は持ち帰りましょう。



3

家畜がいる施設に
近寄らないようにしましょう。

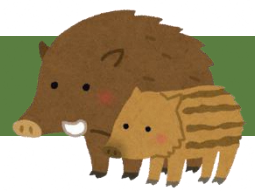


4

いのししの死体を見つけたら
管轄の自治体に連絡して下さい。



豚熱についてもっと詳しく

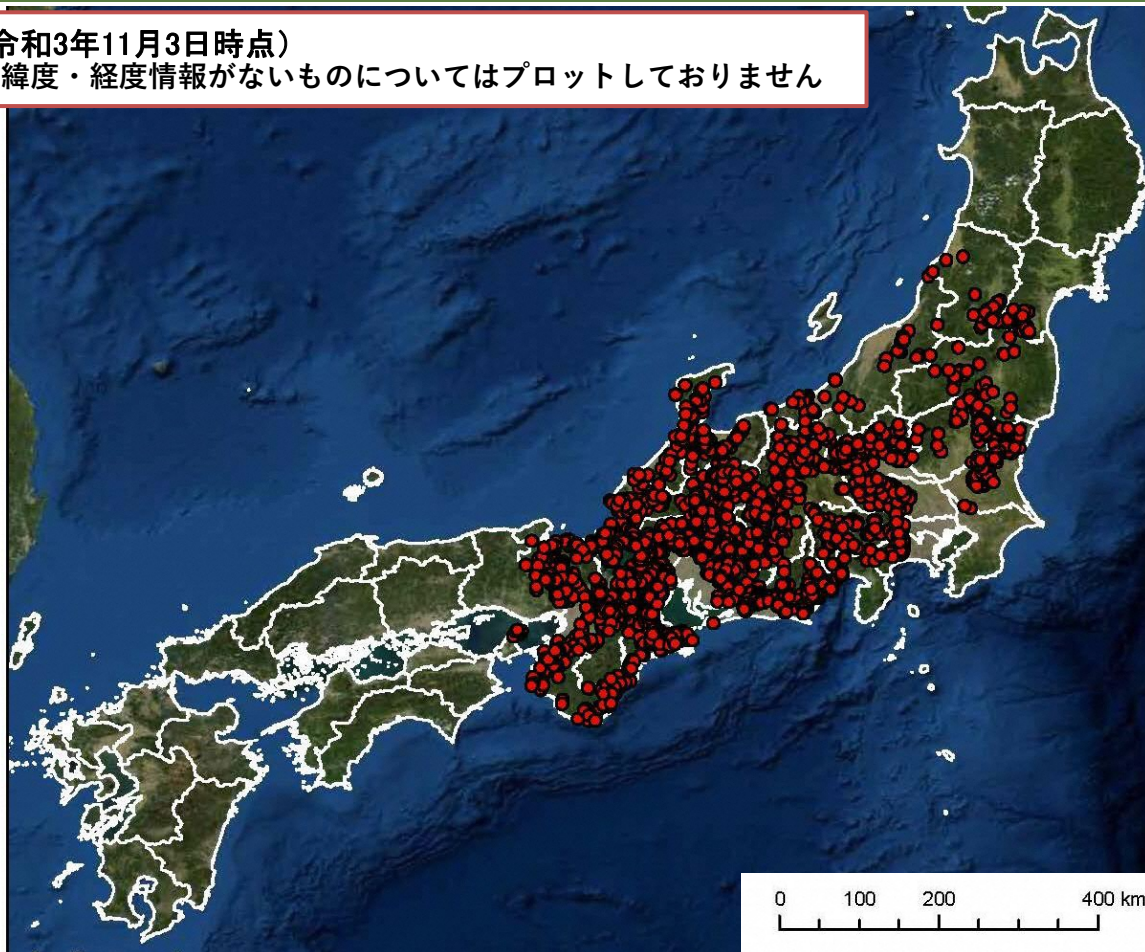


- 豚熱(旧称:豚コレラ)は、ウイルスによる豚・いのししの病気で、人には感染することはない、仮に感染した豚肉や内臓を食べても人体に影響はありません。平成30年9月から国内の豚・いのししで感染が確認されています。
- 養豚農場で感染が確認された場合、治療法がないことから、他の養豚農場に広がらないよう、発生農場の豚を処分することが家畜伝染病予防法で規定されています。
- 養豚農場の豚への感染を防ぐためには、野生いのししと豚との接点を断つことが重要です。
- 感染した野生いのししが生息する地域の土等にはウイルスが含まれます。山に入った後、下山する前に登山口等で靴等の泥を落としてください。山に入った服装のまま、家畜がいる施設に近寄らないようにしましょう。
- 残飯を放置することで、人が行き来する登山道等に野生いのししを誘引することになり、登山者の皆さんがウイルスを持ち帰る可能性が高くなります。残飯は放置せず、必ず持ち帰りましょう。
- また、アフリカ豚熱という豚熱とは別の病気が、近隣のアジア諸国等で流行しています。豚熱同様、人には感染しませんが、野生いのししへのアフリカ豚熱感染を防ぐ意味でも、残飯は確実に持ち帰るようにお願いします。
- 感染した野生いのししの死体を放置すると、死体と接触した野生いのししからウイルスが広がる可能性があります。このため、野生いのししの死体は速やかに処理する必要があることから、発見時にはただちに管轄の自治体へ連絡するようお願いいたします。

日本における豚熱感染野生いのしし発見地点

(令和3年11月3日時点)

※緯度・経度情報がないものについてはプロットしていません



●
感染いのしし
確認地点